

令和7年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市海と森ふれあい体験館	
指定管理者	団体名	特定非営利活動法人シェルフオレスト川内
	代表者	理事長 内田 征吾
	所在地	むつ市川内町川内477
指定期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	地域の海・山等の豊かな自然を活用した、地域住民の生涯学習の場及び地域を担っていく子供たちの総合学習の拠点であり、地域の伝統文化の情報発信に寄与することを目的とした施設である。設置目的を踏まえ地域の活性化を図る為、利便性を向上させる運営に取り組む。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、經常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	10,344	10,169	-175
うち利用料金額	46	33	-13
うち指定管理料	10,038	10,038	0
その他収入	260	98	-162
支出合計 (B)	10,344	10,701	357
うち人件費	6,708	6,420	-288
収支差 (A-B)	0	-532	-532
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	収入についての減少：指定事業（催事）の収入が計画目標より減少 支出についての増額：計画外の突発的な事態の対応等による支出増額 ① 冬期間の暖房設備故障による、暖房器具等の備品購入 ② 気候変動・熱中症対策・熊対策のための消耗品等購入		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	指定事業	8,450	8,365	-85
	自主事業	1,850	2,550	700
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・無） 施設に備え付けているアンケートでは、スタッフが親切だったという声を多くいただいているため、ホスピタリティや展示内容について改めてスタッフ間で共有し、利用者が快適に過ごせる空間づくりを行っていく。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人・千円

事業名	利用者数	収入	支出
①親子でイルカウォッチング	34	0	56
②むつ川内ホタテフェスティバル	1,000	124	382
③かわうち・まりん・びーち クリーンアップ Day	16	0	0
④スノー×ライトフェス 2026 in 川内	1,500	157	1,078

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
② 施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	A
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	A
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	C	C
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③ 労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④ 利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	C	C
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目についての改善策を記載すること。

- (1)㊦来館者全員に声掛けを行っており、お客様のニーズをくみ取った適切な案内ができるよう、日々職員間で共有を行っている。
- (2)㊦ホタテフェスティバルや冬のイベントなどを実施しており、施設だけでなく地域の活性化に貢献している。
- (3)㊦貸館利用についての周知が不十分な面があるため、web サイトや SNS 等を用いて利用方法などを改めて案内していきたい。
- (5)㊦冬の雪庇による事故が発生したため、職員間で安全管理について改めて話し合い、事故の原因や対策について共有を行った。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

施設利用料（使用料）収入は、過去3年間、3万円前後で推移し利用者は横ばい状態にあるものの施設利用者数は、4年前の5,482人に比べ、令和5年以降は、1万人超で推移しており、地域おこし協力隊員の協力を得ながら、指定事業及び自主事業の積極的な企画・展開を図った結果の表れと評価できる。

今後も地域住民及び当市を訪れる観光客等のニーズに着目した自主事業の更なる展開をお願いしたい。

貸館利用料金の増加に関しては、あらゆる広報手段を利用し、施設利用案内の幅広い周知をお願いしたい。

1月末の自主事業開催時に屋根からの落雪により車が破損する事故が発生し、地域おこし協力隊企画の事業であったことから、そちらの保険で対応した経緯がある。このようなことを踏まえ、事故防止等の安全対策に関しては、施設点検マニュアル、安全対策マニュアルを見直す等、万全な対応をお願いしたい。